

広域ごみ処理施設

整備ニュース

令和3年2月

第7号

【発行】

五泉地域衛生施設組合

五泉市論瀨 8864

☎0250(43)3852

<http://gosen-eisei.jp>

ごみ焼却施設・リサイクル施設

中間処理施設の整備状況

中間処理施設は、コストの低減及び公共サービス水準の向上を図るためDBO方式を採用しました。DBO方式とは設計（Design）、建設（Build）、運営（Operate）を一括発注する方式です。本事業は、施設整備（設計・建設）のあと、20年間の運営・維持管理を一括して民間事業者が行います。令和2年7月10日に総合評価一般競争入札方式による入札公告の公表を行い、設計・建設及び運営・維持管理事業者の選定を進めています。

事業者選定までのスケジュール

R2. 7月 入札公告及び入札説明書等の公表

中間処理施設を建設するにあたり、組合が要求する安全性や性能等の基準を公開し、事業者の募集を行いました。

R2. 8月 資格審査申請書に関する書類提出の受付・審査

申し込みをした事業者について、設計・建設及び運営・維持管理業務を行うための要件を満たしているか、入札参加資格の有無の審査を行いました。

R3. 2月 技術審査・開札

入札参加資格があると認められた事業者から提出された技術提案書を建設委員会で評価し、最優秀提案者を選定します。

R3. 5月 本契約

最優秀提案者と契約を結びます。

R3. 6月～ 実施設計

要求水準書を基に具体的にどのような施設を建設するか組合と事業者で協議を行いながら詳細な設計を進めていきます。



建設工事は令和3年度に着手し、運転開始は令和7年4月1日の予定です。

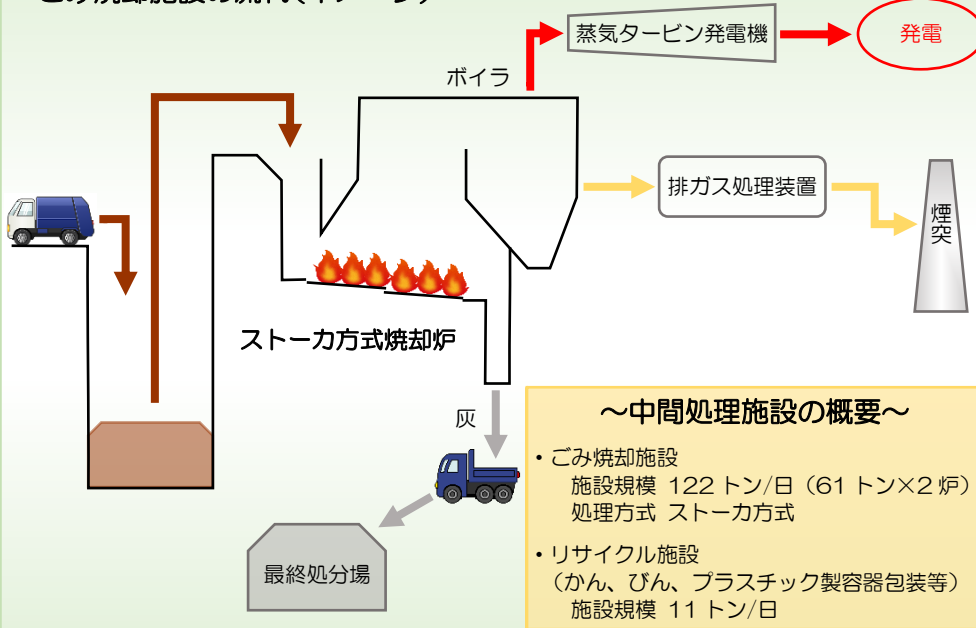
事業者選定について

中間処理施設を稼働させるためには、施設を建設することはもちろん、ごみを安全に燃やすための設備や効率的な発電設備等を設置する必要があります。また、建設後は施設を安全で安定的に運営できる技術力が必要です。

事業者の選定は、創意工夫された技術提案書を建設委員会で落札者決定基準に基づき技術面及び価格面の審査を行い、最も評価の高い事業者に業務をお願いします。

中間処理施設の特徴 ～3つのポイント～

ごみ焼却施設の流れ(イメージ)



ポイント1 周辺環境に配慮!

煙突から出る排ガスには、法令等による規制値があります。組合では更に厳しい独自の基準(組合基準値)を設定し、環境負荷の低減に努め、適切に管理します。

大気汚染物質	単位	組合基準値	法令等規制値
ばいじん	g/m ³ N	0.01	0.08
塩化水素	ppm	50	430
硫酸酸化物	ppm	30	約1,750
窒素酸化物	ppm	100	250
ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.1	1
水銀	μg/m ³ N	30	30

○ごみ処理で使用した水は、施設内で再利用し、外部へは排水しませぬ。

ポイント2 安全・安心なごみ焼却施設!

ごみ焼却施設の処理方式はストーカ方式です。国内で設置されている焼却施設の中で最も普及している方式で、安全性、安定性が高く技術的に確立されています。

ポイント3 未利用エネルギーの有効活用!

ごみを燃やすと高温の熱が発生します。その熱を利用して蒸気を作り、高効率の蒸気タービン発電機で発電を行います。発電した電力は施設内で利用し、余った電力は電力会社に売却する予定です。

道路改良工事の状況

収集運搬車両等が安全に通行できるように市道の拡幅等の道路改良工事を実施しています。工事期間は、3月18日までの予定です。皆様には大変ご迷惑をおかけしておりますが、ご理解とご協力をお願いします。



①県道側からの様子



②市道側からの様子

【撮影：令和3年1月】

ごみの減量を!! ～小さな習慣が大きな削減に～

ごみの処理工程は、収集運搬、焼却、資源回収、最終処分等でこれらには莫大な経費がかかっており、その多くは皆様の税金でまかなわれています。一人ひとりが、正しい分別や食べ物のムダをなくすことでごみの排出量を減らすことができ、経費の大きな削減につながります。家庭や職場でできることから取り組みましょう。